

2023年3月22日

住友生命保険相互会社

～福島県会津若松市「AiCTデジタルまつり2023春」イベント～ 高校生による健康無関心層への動機付けチャレンジを支援

住友生命保険相互会社（取締役 代表執行役社長 高田 幸徳、以下「住友生命」）は、福島県会津若松市におけるスマートシティUXイベント「AiCTデジタルまつり2023春」にて、地元会津学鳳高等学校・会津若松ザベリオ学園高等学校の学生が主体となって考えた「美と健康のブース“会津高校生発Skin&Healthプロジェクト～会津をもっと元気に～”」の出展を支援しましたのでお知らせします。

1. 支援の内容

住友生命は、2021年度より会津若松市のスマートシティ化を推進する一般社団法人AiCTコンソーシアムの正会員となり、2022年には高校生による会津地域活性化プロジェクト「ALMS^{※1}」にも参画し、地元高校生が地域の社会課題の解決に向けた取組み^{※2}を実行することを支援しています。

今回生徒が、「健康管理への意識向上」のために自身の健康状態を把握し、美容・健康促進に関する情報提供、アドバイスに取り組みたい、とのアイデアを発案しました。この取組みは、健康意識と行動の変容を経て健康寿命の延伸へつながるという意味で、住友生命が掲げる「一人ひとりのよりよく生きる＝ウェルビーイング」への貢献に結びつくものであることから、生徒が主体的に課題を解決する機会の提供として「AiCTデジタル祭り2023春」での出展を支援しました。

※1 ALMS=Aizu local industry matching by high school student。高校生が会津地域の課題を自分ごととして捉え、さらに広い視野で課題を発見する力、コミュニケーション能力の向上をきっかけに高校生が会津における地域創生の力になることを期待するプロジェクト。

※2 ①人口減少、②地場産業等の担い手不足、③地域活性、④職業観醸成、⑤健康をテーマに主体的に地域の課題を発見する試み。

a. 「美と健康のブース」の概要

指先の血流チェックブース、肌年齢チェックブースを設け、来場者の方の血管年齢や肌年齢、お肌の健康度を測定し、美容・健康促進に関する情報提供、アドバイスを実施しました。

<参加者の声>

高校生から案内や指導をされる血流検査や肌年齢測定によって自身に思いがけない気付きがあり、生活習慣を改善することで健康になるだけでなく美容にも効果があることを実感でき、改善に向けた取組みに意識が高まりました。

<地元高校生の声>

機器の使い方を学び、チラシを作り、告知を行い、ブースでは普段は話す機会の少ない老若男女問わず幅広い層の方々と接することができました。社会とのつながりを主体的に経験することで、今後のキャリア形成を考えるきっかけとなるイベントになりました。

<来場者数等>

開催日	3月18日、19日
イベント来場者数	約800名
ブース来場者数	約200名

<当日の様子>



2. 今後の取組みについて

住友生命は、子供のウェルビーイングの向上に向けた、子供たちの主体的なキャリア形成機会の提供に取り組んでいます。

また、医療費の増加や健康寿命と平均寿命のギャップの解消といった社会課題に向けては、健康無関心層の方々へ情報提供を行うことで行動変容を促せないか、という点に着目しています。

地元高校生による美を切り口とした健康管理への動機づけを行う今回のような取組みは、子供たちと社会との接点づくりおよび社会課題解決においても意義が高いものと考えています。

今後も、各地域の地元学生による主体的な社会課題解決に向けた取組みの支援、健康無関心層に対する健康増進活動の動機づけといった取組みを通じて、「一人ひとりのよりよく生きる＝ウェルビーイング」に貢献し、「なくてはならない」生命保険会社を目指していきます。その実現のために、Vitality健康プログラムを中心とするWaaS (Well-being as a Service) エコシステムを構築してまいります。

3. 一般社団法人AiCTコンソーシアムの概要

AiCT所在地：福島県会津若松市東栄町1-77

AiCT所有者：株式会社AiYUMU（民）と会津若松市（官）の共有

一般社団法人AiCTコンソーシアムは、オプトインによるデータ活用とパーソナライズによる市民中心のスマートシティ実現に向け、国内外の有力企業、会津地域の企業や団体など、約90の会員企業・団体で構成されているコンソーシアムです。

2011年に会津若松市・会津大学・アクセンチュアの産学官連携で始まった、東日本大震災からの復興に向けた取組みを端緒として、先進的なスマートシティの取組みが進み、多数の企業が会津若松市に集積したことを受けて、2021年に設立されました。

会員企業・団体は、スマートシティのデータ連携基盤となる都市OSを軸に、ヘルスケア、防災、データ利活用、ものづくり、エネルギー、教育、食・農、地域活性化、観光、行政、決済、モビリティインフラ、スマートホーム、サーキュラーエコノミー領域など、幅広い分野のスマートシティサービスを、組織の枠を超えて開発、運用しています。

本コンソーシアムでは、会津地域で10年以上をかけて培われた知見、プラットフォーム、ネットワークをもとに、会津における地域DX（デジタル変革）を目指すとともに、日本のあるべきスマートシティのモデルとして全国に発信しています。会員企業の詳細は、以下のURLをご参照ください。

<https://www.aict.or.jp/company-list>

以上